

特に求める募集内容（14項目）

番号	分野	項目名	求める情報	求める性能・規格	募集期限
1	・土工	軽量盛土に関する技術	軟弱地盤部で採用できる従来よりも低コストな技術に関する情報を求めています。	供用中の道路の工事で使用できるもので、軽量で通常の発泡スチロールブロック工法と同等の施工時間で3割以上安価な軟弱地盤対策技術 路体用：圧縮：50KN/m ² 以上 路床用：圧縮：200KN/m ² 以上 軟弱地盤に起因する段差修正箇所数：約100箇所	平成21年 5月31日
2	・コンクリート	凍害・塩害に強いコンクリート塗装材料	凍害・塩害に強いコンクリート塗装材料に関する情報を求めています。	外部からの水分遮断性能 外部からの塩分遮断性能 コンクリート内部の水蒸気を発散させる性能 耐久性（剥離しない、劣化しない等） 橋梁の道路延長：約400km	平成21年 5月31日
3	・コンクリート ・測定	非破壊方式によるコンクリート構造物内の塩分濃度の測定技術	コンクリート構造物の新たな非破壊検査手法についての情報を求めています。	現地で簡易に据え付けるだけで、塩分濃度等がその場で測定可能なもの。 コンクリート表面から鉄筋位置までの深さ（1cmピッチ程度）で、塩分濃度を非破壊で測定できるもの。 橋梁の道路延長：約400km	平成21年 5月31日
4	・路面標示	耐久性の高い路面標示工	積雪寒冷地での除雪作業時に、鋼製のスノーブラウが路面標示に接触することによる消耗が激しいため、耐久性の高い路面標示工の情報を求めています。	既存の路面標示工と同等程度の施工性を有し、耐久性の向上が期待できるもの。 対象となる区間の延長：約1,800km	平成21年 5月31日

番号	分野	項目名	求める情報	求める性能・規格	募集期限
5	・雪氷	狭小部等の除雪・排雪作業効率化のための雪氷技術	交通規制を必要としないトンネル坑口部の排雪方法、人力で行っている狭小部の除雪の効率化・省力化のための除雪機械または融雪装置の情報を求めています。	トンネル坑口部において交通規制を必要としない排雪装置(融雪装置) 狭小部に適した除雪機械、融雪装置 パワーアシスト装置等の作業補助装置 TN 箇所数(北海道・東北・新潟支社管内):約 250 本 明かり部の非常電話設置箇所数(北海道・東北・新潟支社管内):約 4,900 箇所	平成 21 年 5 月 31 日
6	・安全対策	簡易な誤進入防止対策	高速道路上における低コストで効果的な誤進入(逆方向への走行)防止対策の情報を求めています。	1 箇所当りの対策費:20 万円程度以下 連絡等施設・休憩施設(上下別)箇所数:約 700 箇所	平成 21 年 5 月 31 日
7	・舗装 ・測定	橋梁部のコンクリート床版上における舗装厚さの非破壊測定技術	非破壊検査を利用して、コンクリート床版面までの舗装厚さを精度よく、安価に測定する新たな調査方法の情報を求めています。	コンクリート床版上の舗装厚を、車線規制を伴わないで時速 50km 以上で走行しながら行える非破壊測定技術 求める計測精度:1 mm 程度まで計測可能なもの コンクリート床版の橋面積:約 8,000 千 m ²	平成 21 年 5 月 31 日
8	・舗装	高機能舗装の効率的な打換え工法	騒音、振動等の影響と施工時間を短縮できる新たな工法の情報を求めています。	夜間工事(21 時～翌朝 5 時)において、表層+基層+上層路盤(加熱アスファルト安定処理路盤)(25cm)の打換え工を、1 車線(3.5m)を 100 m 程度、1 夜間で施工出来る工法 対象となる道路延長:約 400 km 1 車線あたりの標準幅員:3.5m	平成 21 年 5 月 31 日

番号	分野	項目名	求める情報	求める性能・規格	募集期限
9	・雪氷	塩化ナトリウムに代わる新たな凍結防止剤	塩化ナトリウムほど構造物等への影響が少なく、低価格で安定した供給が出来る新たな凍結防止剤の情報を求めています。	塩化ナトリウムほど、錆の発生がなく低価格な凍結防止剤 塩化ナトリウムと同等程度の凍結防止効果 安定した材料の供給 平成 19 年度の凍結防止剤使用数量：約 100 千 t	平成 21 年 5 月 31 日
10	・雪氷	つらら(着雪)対策	情報板やカルバートボックス・橋梁等のつらら(着雪)落下による被害を防止する事が出来る新しい工法や材料の情報を求めています。	着雪しにくい構造および塗料等の材料 現在実施箇所数：約 450 箇所	平成 21 年 5 月 31 日
11	・環境	草刈・樹木剪定により発生する植物廃材(バイオマス)を活用した「バイオマスガス発電」	草刈・樹木剪定により発生する植物廃材の有効活用として、新たなエネルギーとして「バイオマスガス発電システム」に関わる情報を求めています。なお、有効活用方策として、発電システムへの活用以外の情報も求めています。	50～200kwh 規模の発電システム 木質、草本類の植物廃材(バイオマス)を活用できる発電システム 仕様・規格等の要求事項 イ)設備規模(発電量、設備の大きさ) ロ)概算設備費(基礎工含む) ハ)発電後の残渣(灰等)量(割合) ニ)概算運転費(人件費、メンテナンス費等)	平成 21 年 2 月 28 日
12	・環境	遮音壁裏面を活用した「太陽光発電システム」	高速道路上に設置された遮音壁の裏面を活用した新たなエネルギーとして「薄型の太陽光発電システム」に関わる情報を求めています。	遮音壁の平面に貼付けできる薄型の太陽光発電システム 大きさ(500×2000mm 又は 4000mm) 仕様・規格等の要求事項 イ)1 m ² 当りの発電量 ロ)発電システム概要(パンフレット等) ハ)概算設備費	平成 21 年 2 月 28 日

番号	分野	項目名	求める情報	求める性能・規格	募集期限
13	・環境 ・舗装	舗装工事における施工の効率化とCO ₂ 削減対策としての「中温化舗装」	高速道路のアスファルト舗装工事において、現状のアスファルト混合物よりも温度を低下させて練り混ぜ、舗装を行う「中温化舗装」技術について情報を求めています。	練り混ぜ時温度(従来工法より50℃以上低温) イ) 練り混ぜ等の技術概要 ロ) 従来工法とのコスト及び耐久性の比較 ハ) CO ₂ 削減効果	平成21年 2月28日
14	・環境	飲食施設(SA、PA)におけるハエなどの害虫対策及び臭気対策	飲食施設(SA、PA)において、周辺から飛来するハエなどの害虫対策と、周辺の畜舎などの臭気に対する効果的な対策(害虫対策又は臭気対策の一方のみでも可)についての情報を求めています。	できるだけコストがかからず、また、実施事例等から効果が極力定量的に想定できる対策手法	平成21年 5月31日